

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

公表 令和3年7月1日

事業所名 さんぼみち

スタッフ14名回答

| | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は、改善目標 |
|---------|--|----|-----------|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | 6 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要ない物は置かないようにして片付けている。 ・ 人数によって狭く感じたり、広すぎたりすることもある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸棚も設置したため、片付けがしやすくなったかと思えます。必要な物とそうでないものをはっきりとし、子どもたちがわかりやすい環境づくりをしていきたいです。 ・ 子どもたちの様子に合わせて、スタッフも臨機応変に入退室をしながら支援をしていけたらと思います。 |
| | ② 職員の配置数は適切である | 7 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動時などは安全を第一にと考え、数回に分けて移動している。 ・ 適切ではあるが、日々変動的。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフ同士で声をかけあいながら、安全を一番に考えていきたいです。 ・ スタッフも安心して支援できる体制を作りたいです。 |
| | ③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっている。また、発達の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 11 | 3 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 目で見て分かるように絵カードを使用しているが、動きのある時は、流れで分かるように環境の配置も工夫していく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カードだけではわからないこともありますので、どの児もわかりやすい配慮をできたらいいと思います。具体的にどのようにしていったらわかりやすいのかを検討しあえるとよいです。 |
| | ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 9 | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 清潔に使用できるように心がけているが、床・畳等、年数経過している所は修理が必要。 ・ 消毒するようになり、更に徹底されるようになった。ただ、玄関先やトイレ等の共有スペースの汚れが気になる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 床や畳などの修理箇所は現在どのように修理をするのか、検討中です。 ・ 共有スペースの掃除については、みなさんが気持ちよく利用できるように、施設全体で検討します。 |

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

| | | | | | | |
|----------|---|--|----|---|---|--|
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 10 | 4 | | |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 11 | 3 | | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 9 | 5 | | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 8 | 6 | | |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 14 | | ・積極的に参加するようにしている。 ・研修は多いと思う。相談をしやすい。 | ・カンファの回数も増え、みなさんが意欲的に参加してくださり、ありがたいです。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 12 | 2 | | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 9 | 5 | | |

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

| | | | | | |
|---|--|----|---|---|--|
| ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家庭支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 12 | 2 | | |
| ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 12 | 2 | | |
| ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 11 | 2 | 1 | |
| ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 10 | 4 | | <ul style="list-style-type: none"> ・心がけている。 ・常勤STでの話し合いの時間を設けるようにした。 <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返して安心できることも大切にしながら、子どもたちが受け入れられる活動を考えています。 |
| ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 11 | 3 | | <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ同士で話し合い、情報交換をしている。 ・MTや日々の申し送り、振り返りなどで、いろいろなことを話し合えると良いと思います。 |
| ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 13 | 1 | | |
| ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 14 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・パートST、常勤STとの共有を大切にしている。 ・支援前の申し送り、支援後の振り返りなど、日々スタッフの入れ替わりもありますので、丁寧にやっていきたいです。 |
| ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 14 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・パートST、常勤STとの共有を大切にしている。 ・誰が見てもわかりやすい記録がとれるように工夫しています。 |

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

| | | | | | | |
|--------------|---|--|----|---|-----------------------------|--|
| | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 11 | 3 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 10 | 4 | | |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 9 | 5 | ・状況によってはケース会議をしている。 | ・医療、通園先、保健師、子育て支援ひろばなど、関係機関との連携をしていくように心がけています。 |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 10 | 4 | | |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 11 | 3 | | |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 11 | 3 | ・状況によって、日々の様子を動画で観て頂くこともある。 | ・誰でもわかりやすくイメージをして、情報共有ができるように努めています。 |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 12 | 2 | 分かり合えるように、母の話しを具体的に伝えている。 | ・母の話を具体的に伺いながら、書類を作成しています。学校の先生とお話をしながら、できることを調整しています。 |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 11 | 3 | | |

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

| | | | | | | |
|------------|--|----|---|---|---|--|
| | ⑳ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流の機会がある | 4 | 3 | 7 | ・今後の支援でもイメージや基準等を把握するため機会をもらった。 | ・一部スタッフで幼稚園実習をしました。子どもたちの発達のイメージや通園先での集団の様子を知る機会になりました。 |
| | ㉑ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 4 | 6 | 4 | ・一部スタッフで幼稚園実習をしました。子どもたちの発達のイメージや通園先での集団の様子を知る機会になりました。 | ・連携の取りやすいように、日頃から連絡をとるように努めたいです。 |
| | ㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 12 | 2 | | ・足りない点もあるが、迎えの時に話せるように心がけている。 | ・お迎えの時、面談の時など、日々の気になっていることを踏まえ、お話をできるようにしていきたいです。 |
| | ㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている | 12 | 2 | | | |
| 保護者への説明責任等 | ㉔ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 11 | 3 | | ・説明会を行っている。 | ・説明会の内容を丁寧にスタッフにも周知するようにしたいです。 |
| | ㉕ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 11 | 3 | | | |
| | ㉖ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 11 | 3 | | ・必要な時は医療機関の心理担当者に様子を伝えて情報共有している。 ・日々、保護者に声をかけ、面談時に話しやすい雰囲気作りをしている。 | ・保護者が相談しやすい雰囲気をさんぼみちとしても作っていきたい。また、保護者も相談しやすい場所や相手があるので、他機関との連携をとりながら、保護者のニーズに応えられるようにしたいです。 |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|--|--|
| | ③⑤ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 9 | 4 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・直接支援をした経験がないため分かりません。 ・今年度はコロナの関係であまりできなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策を考え、少人数で行う予定です。実施後は状況や様子をスタッフ全体に周知していくようにします。 |
| | ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 12 | 2 | | | |
| | ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 11 | 3 | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、お便りを作成している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズに合わせて、日程だけでなく、日々の様子が伝えられるように工夫をしています。 |
| | ③⑧ | 個人情報の取り扱いに十分注意している | 13 | 1 | | | |
| | ③⑨ | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 13 | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・電話で伝えた時、お話しをした時、メモも一緒に記入する等。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとり伝わりやすい伝達方法が異なるため、何がわかりやすいのかを繰り返しの中で工夫するようにしたいです。 |
| | ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 8 | 5 | 1 | | |
| 非常時等の対応 | ④⑪ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 12 | 2 | | <ul style="list-style-type: none"> ・訓練を実施できるように予定を記入していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは策定し、年度当初にお伝えするようにしています。 |
| | ④⑫ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 12 | 2 | | <ul style="list-style-type: none"> ・その他必要な訓練ができるように努めていく。 ・外遊びの移動時と同様に避難時にすぐ駆けつけてくれる人出が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、災害、防犯、感染症などの様々な訓練を取り入れるように心がけています。 |

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

| | | | | | |
|----|---|----|---|--------------------------------|--|
| ④③ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 11 | 3 | | |
| ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 12 | 2 | | |
| ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 12 | 2 | ・道路への飛び出しが出来るないように環境整備をお願いしたい。 | ・多機能事業所ですので、車の出入りもあり、全体の環境整備は難しいかもしれません。どの場面で飛び出しが多いのかを探り、具体的に何をどうしたら安全に過ごせるのかを検討したいと思います。 |
| ④⑥ | 虐待を防止するため、職員を研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 10 | 4 | | |
| ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 7 | 5 | 1 | |